

平成 23 年度第 5 回宇都宮大学経営協議会議事要録

日 時 平成 23 年 12 月 20 日（火）13 時 30 分～15 時 07 分
場 所 宇都宮大学本部第一会議室
出席者 進村，飯村，板橋，橋本，浜村，増山，築，馬場，渡邊，石田，國友，内山，
海野，茅野の各委員
伊藤監事，塚本学長特別補佐

議事に先立ち，平成 23 年度第 4 回宇都宮大学経営協議会議事要録（案）を確認し，原案のとおり承認した。

[議 題]

1. 中期目標・中期計画の変更手続きについて 口頭
渡邊理事から，中期目標・中期計画について，本学では変更事項がない旨の説明があり，審議の結果，これを承認した。
2. 平成 23 年度補正予算（第 3 号）に係る年度計画の変更について（案） 資料 1
渡邊理事から，資料 1 に基づき，平成 23 年度補正予算（第 3 号）に係る年度計画の変更について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。
3. 平成 23 年度年度計画の進捗状況の点検・評価について 資料 2-1～2-4
渡邊理事から，資料 2-1～2-4 に基づき，平成 23 年度年度計画の進捗状況の点検・評価にあたり，平成 23 年 4 月から同年 10 月までの取組を取りまとめ，内容の精査を進めていること及び今後の進め方等について説明があり，審議の結果，これを承認した。
4. 平成 23 年度学内補正予算（案）について 資料 3
國友理事から，資料 3 に基づき，平成 23 年度学内補正予算（案）について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。
続いて，同理事から，平成 24 年度概算要求をめぐる国の動向等について，運営費交付金削減に関する情報等を中心に，詳細な説明があった。
(主な意見等)
 - ・大学改革を進めなければならない状況の中で，大学の使命や重点分野などの方向性を明確にしつつ地域社会に貢献できているのかの視点が重要であり，そうすることによって，大学の存在価値を高めていくことになるのではないかと。
 - ・大学改革事業の展開等について，より具体的に検討するため，学外者の意見等を活用することを考慮すれば良いのではないかと。

[報告事項]

1. 平成 22 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について 資料 4-1～4-3
渡邊理事から，資料 4-1～4-3 に基づき，平成 22 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があった。

(主な意見等)

- ・教員の授業評価等は、どのようになっているのか。
→毎年、学生による授業評価を前期、後期別を実施し、その結果を公表している。これらをベースにベストレクチャー賞を選考している。また、同賞や学会賞受賞者、大型の外部資金獲得者等について処遇に反映している。
- ・近年、海外留学への意欲を持つ日本人学生が少ないように思われる。例えば、宇都宮大学への入学希望者等に対し、留学生を交えた討論会等を開催するなどしてアピールしたら、大きな効果があるのではないか。
→海外留学の意欲を持っている学生は意外に多い。今後、そうしたニーズに対応できるような環境の整備を進めていきたい。

2. 入学検定料・入学料・授業料の免除について

資料5

石田理事から、資料5に基づき、東日本大震災等で被災した受験生を対象に、入学料・入学検定料・授業料の免除について、既定の本協議会で了承いただいている予算の枠内で経済支援を実施する旨の報告があった。

3. 公的研究費の適正な執行等の取組の徹底及び実態調査について

資料6

國友理事から、資料6に基づき、公的研究費の適正な執行等の取組の徹底及び実態調査の実施結果として、プール金、預り金の不正がなかったこと及びその内容を文部科学省に報告する旨の報告があった。

4. 冬季の節電について

資料7

國友理事から、資料7に基づき、本学における冬季の節電対策について報告があった。

5. その他

学長から、参考資料に基づき、本学関連新聞掲載記事について報告があった。

以上